

2022 年 2 月 23 日

研究テーマと「蕎麦つゆ」

群馬大学 小林春夫

令和 3 年度の研究室で取り組んだ博士論文・修士論文・学部卒業論文の学生向けの研究テーマは下記である、

敢えて「飛んだり跳ねたり」するような、必ずしも実用的なことを意識しないことも桑名杏奈先生のご協力を得てやってみた。(赤)

これまで「産業界にベクトルを向けた研究」を意識していたが、大学なのだから好き勝手なことをやってみようと思った次第である。

また、行きがかり上「アナログ」を標榜していたが、デジタルもやってみた。(青)

博士論文

- $\Delta\Sigma$ ADC Linearity Testing Technology and [Floating-Point Arithmetic Algorithms with Taylor-Series Expansion](#)

修士論文

- 電荷モード折り返し AD 変換回路の研究
- オペアンプ試験法および超低電流測定法の研究
- 電源電圧及び温度に依存しない基準電流生成用改良永田電流源回路の研究
- 温度不感定電流源回路および電流駆動 IGBT ゲートドライバ回路の研究
- 低周波信号サンプリング回路での有限アパーチャ時間の積極利用
- CFD 技術を用いた S 字型風車の最適ブレード数の検討
- [Research of Asynchronous SAR ADC based on Hopfield Network](#)

学部卒業論文

- [貴金属比による疑似乱数発生アルゴリズムの研究](#)
- [自然指数関数の分散型積和演算アルゴリズムの研究](#)
- [信号推定アルゴリズムの ADC 評価への応用](#)
- [負性抵抗を含んだ不均一抵抗ネットワークの時空間安定性の研究](#)
- [フラクタルを用いた集積回路での小チップ面積での抵抗実現法](#)

落語での「蕎麦つゆ」

あるところに、蕎麦の食べ方の講釈をする江戸っ子がいた。
「そばは、さらさらとたぐり、そばの先に、ほんの一寸か二寸、つゆをつけてたぐり込む。
そうしなければ、そばの香りが判らねえ。」
そう言って、いつも、そばをたぐっていたそうだ。

ところがこの男、病気になって、明日とも知れぬ身となった。
見舞いにいった友人が、
「なにか、言い残すことはねえか。」
と問えば、
「たった一度でいいから、そばにつゆをたっぷりつけて食べたい。」
と答えたそうだ。

いまはやりたいことをやっ飛ばさおおうという心境である。